

コロンビア、ブラジル、米国出張

4月29日（月）から5月6日（月）の日程で、経済産業大臣としてコロンビア、ブラジル、米国に出張してきました。

1. コロンビア（4月30日（火））

コロンビアでは、サントス大統領、ディアス・グラナドス商工観光大臣及びレンヒフォ鉱山エネルギー大臣との会談を行いました。また、日本から同行の企業ミッション団が参加する投資セミナーを実施しました。

（1）サントス大統領及びディアス・グラナドス商工観光大臣との会談

日・コロンビアEPA交渉の加速化や、日本と太平洋同盟との連携強化等についての意見交換を行いました。また、先方から日コロンビア経済関係の強化について強い期待が寄せられました。



（サントス大統領への表敬）

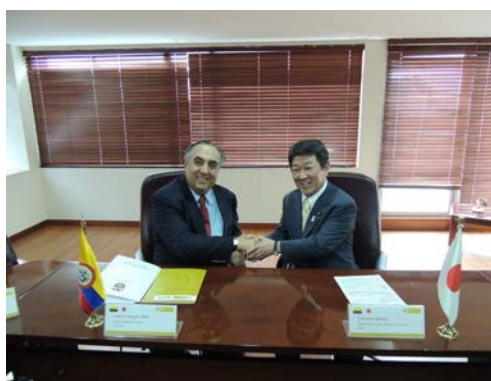
※コロンビア共和国大統領府の御厚意により提供



（ディアス・グラナドス商工観光大臣との会談）

（2）投資セミナー

同行企業団12社と現地日系企業8社が参加し貿易投資環境整備に向けた方策について意見交換が行われました。



（レンヒフォ鉱山エネルギー大臣との会談）

2. ブラジル（5月1日（水）～5月2日（木））

ブラジルでは、ホフマン文官長、ピメンテル開発商工大臣、ロボン鉱山エネルギー大臣との会談を行いました。また、日本から同行の企業ミッション団が参加する投資セミナーを実施しました。

（1）ホフマン文官長との会談

日本での官房長官にあたるホフマン文官長とは宇宙・原子力分野やインフラ輸出など幅広い分野での協力関係強化について意見交換を行いました。



（2）ピメンテル開発商工大臣との会談

インフラ輸出協力等について意見交換を行いました。また、「日伯貿易投資促進産業協力合同委員会」の設置に合意し文書に署名しました。



（3）投資セミナー

同行企業団23社と現地日系企業23社が参加し貿易投資環境の整備や産業協力の促進に向けた方策について意見交換を行いました。





(ロボン鉱業エネルギー大臣との会談)

(4) サンパウロでの行事

サンパウロでは、世界第一号となる「中小企業海外展開支援プラットフォーム事業」の立上げ式、現地日系団体代表との懇談会、開拓先没者慰霊碑献花等を行いました。



(「中小企業海外展開支援プラットフォーム事業」の立上げ式 (世界第一号))



(現地日系団体代表との懇談会)



(開拓先没者慰霊碑献花)

3. 米国（5月3日（金）～5月4日（土））

米国では、ブルッキングス研究所での講演、ポネマンエネルギー長官代行、クルーガー経済諮問委員会委員長、ドナヒュー全米商工会議所会頭との会談及びシェールガス採掘サイトの視察を行いました。

（1）ブルッキングス研究所での講演

成長戦略、エネルギー政策、貿易自由化を始めとした日本の経済政策について広く情報を発信しました。



（2）ポネマンエネルギー長官代行との会談

米国の天然ガスの輸出の早期の承認を要請するとともに、エネルギー分野の日米協力をより高め、広げていくこと、原子力安全について、二国間原子力委員会の場において対話を促進していくことで合意しました。



（ドナヒュー会頭との会談）

（ホワイトハウスでクルーガー委員長との会談）

(3) シェールガス採掘サイト視察

2006年に生産を開始したマーセラス・ガス田を視察しました。現在の生産量はこの新ガス田だけでLNG換算で約7000万トン。日本の全世界からの総輸入量が約9000万トンであることを考えれば、ポテンシャルの大きさが際立ちます。

